



SUWA CITY

うつくしい湖 あふれる緑 小鳥うたうまち
文化の香り高く いきいきと やさしいまち
愛する郷土 世界のひとと 手をつなぐまち

諏訪市プレスリリース
教育委員会事務局生涯学習課
平成 30(2018)年 9 月 27 日

市内出土の縄文土器が長野県宝に正式指定されました

諏訪市内から出土した 9 点を含む、県内 158 点の縄文時代中期の縄文土器について、平成 30 年 9 月 27 日の長野県報に告示され、正式に指定されました。

1. 指定の物件

指定分類	指定名称	員数	所在地	所有者
長野県宝	信州の特色 ある縄文土器	158 点	諏訪市ほか 17 市町村	岡谷市 諏訪市 茅野市 原村 富士見町 富士見町立沢区 箕輪町 南箕輪村 宮田村 辰野町 伊那市 山形村 朝日村 安曇野市 大桑村 上松町 塩尻市 川上村 御代田町

2. 指定の概要

県内各地で出土した縄文土器のうち、顔面や動物装飾などがあり造形的に優れた文様・装飾を有している器種や、釣手や有孔鏝付きのものなど、信州で発達した「縄文文化」を象徴する縄文土器。

3. 指定のうち諏訪市の物件

穴場遺跡第 18 号住居跡出土 蛇体装飾付釣手土器 1 点

大ダッシュ遺跡第 7 号住居跡出土 特殊型有孔鏝付土器 1 点

荒神山遺跡第 93 号住居跡出土 深鉢 7 点

※詳細は別紙を参照ください

4. その他

- ・穴場遺跡と大ダッシュ遺跡の土器は、諏訪市博物館で常設展示されています。
- ・荒神山遺跡の土器を、指定記念で展示公開します。

「指定記念ミニ展示 荒神山遺跡の縄文土器」諏訪市博物館 常設展示室 2 内 10 月 13 日（土）～

- ・土器の指定調査を担当された先生の講演会を、諏訪市博物館で 10 月 13 日（土）に開催します。

詳しくは各担当係へお問い合わせください

【 指定に関してのお問い合わせ 】

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り 5-12-18
諏訪市教育委員会事務局
生涯学習課文化財係(担当 児玉)
電話 0266-52-4141(内線 582)
FAX 0266-53-6219
メール shougaku@city.suwa.lg.jp

【 講演会・展示についてのお問い合わせ 】

〒392-0015 長野県諏訪市中洲 171-2
諏訪市博物館・すわ大昔情報センター(担当 中島)
電話 0266-52-7080
FAX 0266-52-6990
メール suwamu@city.suwa.lg.jp

博物館ホームページ <https://suwacitymuseum.jp>

諏訪市ホームページ <http://www.city.suwa.lg.jp>

あなほ
穴場遺跡第18号住居跡出土 蛇体装飾付釣手土器



1982年、県道拡幅工事に先立つ発掘調査で縄文時代中期中葉の住居跡から出土。直立するように据えられた石皿のくぼみに向けて石棒が横たえられ、その中ほどに伏せた状態で出土。釣手部および胴部に蛇（あるいは猪、イノヘビ）とみられる動物装飾が5つ貼りつけられ、背面には大小一对の円孔が四窓開く。目を表したようにも見え、動物顔面を思わせる。装飾と把手の一部を欠くが完形に近く状態は良好。

蛇体信仰を思わせ、釣手土器という特殊な器形もあいまって、神秘的な土器である。また、出土状況から祭祀的性格・行為を考えるうえで貴重である。諏訪市博物館で展示中。



住居跡に残された遺物の状況

釣手土器は石棒に伏せてもたれるような状況で出土。石皿や石碗、深鉢土器も出土した。炭化有機質が広範囲にみられ、故意に火を用いた行為を行っていた可能性がある。

おお
大ダッシュヨ遺跡第7号住居跡出土 特殊型有孔罎付土器



1984年、県立高校改築工事に先立つ発掘調査で縄文時代中期中葉の住居跡から出土。住居跡は大型で掘り込みも深く、出土遺物も多種・多様であった。

有孔罎付土器は床面から壊れた状態で出土。横幅約30cm、高さ約17cm、左右に突起をもつ他に類例のない特異な形である。動物の皮を用いて作られた液体を入れる器（革袋）の形を模したともいわれる。有孔罎付土器の用途・機能を考えるうえで重要な資料である。

諏訪市博物館で展示中。



第7号住居跡と土器の出土状況

荒神山遺跡第93号住居跡 一括出土深鉢土器



指定される縄文土器7点

1974年、中央自動車道西宮線建設に先立つ発掘調査で発見された縄文時代中期を中心とした市内屈指の大集落跡。狭い傾斜地に110軒以上の住居跡が検出され、多量の土器や石器が出土した。

第93号住居跡では覆土（埋め土）中から約40個体分の土器がまとまって出土。藤内I式土器の大型完形品が多く、文様・装飾が豪華に発達し、物語性文様が表されているとみられ、縄文人の高い感性と精神世界をのぞかせる。諏訪市を代表するような造形美のある土器群である。

諏訪市博物館で収蔵、一部が展示中。

（写真説明：指定番号は左上から時計回りに、27・23・24・28・26・22・25）

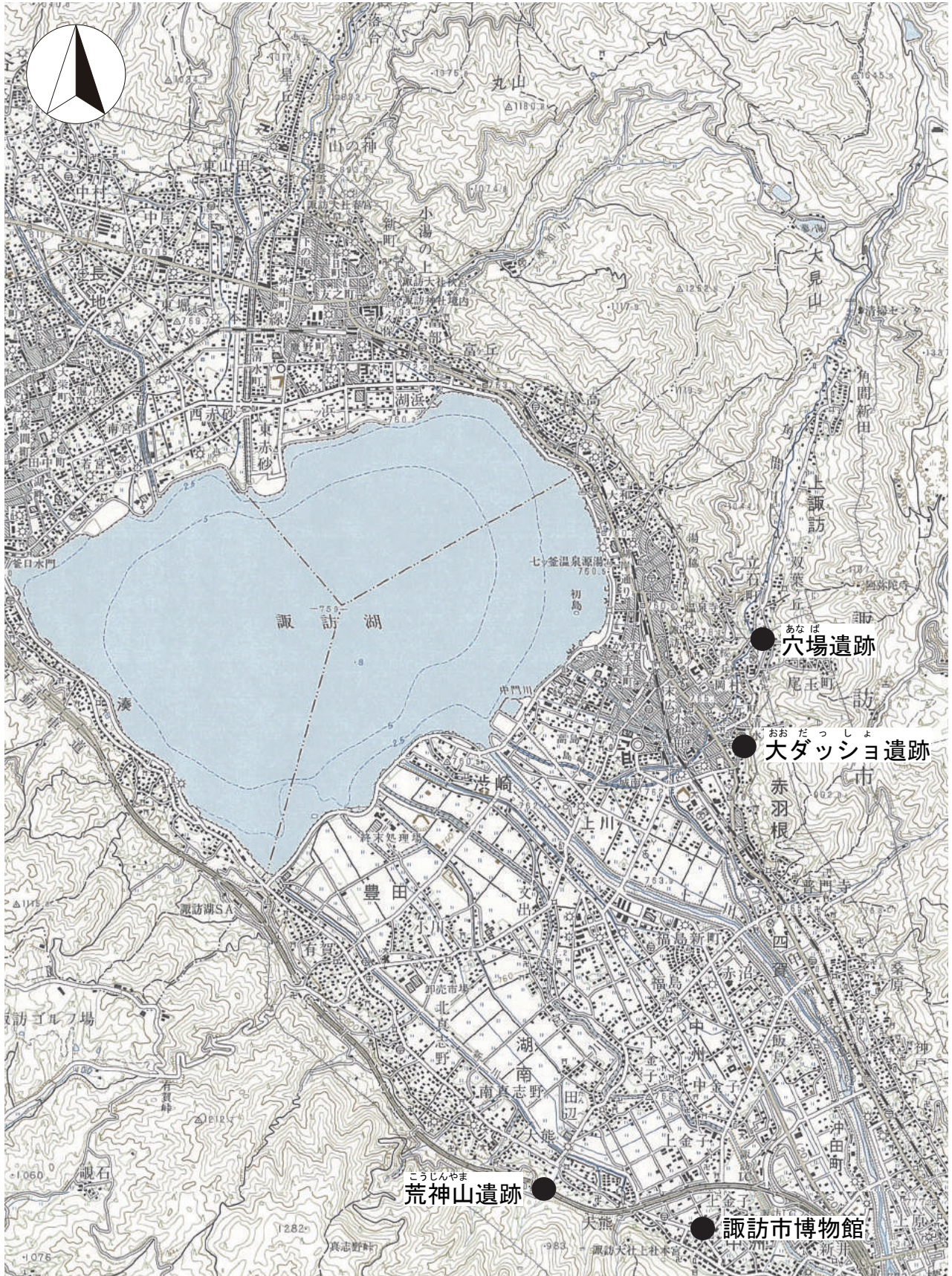


住居内に多量に残された土器群



折り重なって潰れた土器

長野県宝指定された縄文土器出土遺跡 位置図（諏訪市分）



穴場遺跡 県道諏訪白樺湖小諸線拡幅に伴う発掘(昭和57年)

大ダッシュヨ遺跡 諏訪清陵高校改築に伴う発掘(昭和59年)

荒神山遺跡 中央道建設に伴う発掘(昭和48・49年)

*指定された縄文土器は、すべて諏訪市博物館で収蔵・一部展示

0 S=1/50,000 2km

平成30年度 諏訪市博物館・すわ大昔情報センター

〈共催：ふるさと文化を語り継ぐ会〉

「第4回すわ大昔フォーラム」

—長野県宝指定記念—

信州の特色ある縄文土器と諏訪の土器



■場所 諏訪市博物館 学習室

(諏訪市中洲171-2 諏訪大社上社本宮前)

○参加料 博物館入館料のみ

○申込不要

平成30年10月13日(土) 午後1時30分～3時30分

●内容：

諏訪市内から出土した9点を含む、長野県内158点の縄文時代中期の土器について、平成30年9月27日に長野県報に告示され、正式に指定されました。

今回のフォーラムでは「信州の特色ある縄文土器」の指定に至る資料調査を担当された会田進先生をお迎えし、信州の縄文土器に見られる顔面や動物装飾など造形的に優れた文様や装飾について、またこれらの土器に象徴される信州、そして諏訪地域で発達した「縄文文化」について詳しく解説していただきます。



●講師：会田 進 (前長野県文化財保護審議会委員、前長野県考古学会会長)

1947年、長野県安曇野市生まれ。明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒業。岡谷市教育委員会及び市立岡谷蚕糸博物館・美術考古館勤務の間、梨久保遺跡・橋原遺跡・目切遺跡・榎垣外遺跡等の発掘調査を担当し、調査報告書多数を刊行。2002年、尖石縄文文化賞受賞。明治大学黒耀石研究センター客員研究員、八ヶ岳 jomon 楽会会長等。

※県宝指定を記念して、通常非公開の荒神山遺跡出土土器を展示公開します。
「指定記念ミニ展示 荒神山遺跡の縄文土器」 常設展示室2内 10月13日(土)～

※前回より来場者にポイントカードを発行しています。ポイント数(来場回数)に応じた特典を受けられます。

※公共ポイント実証実験 対象事業(ご来場者に50ポイントの引換券を差し上げます)

【お問い合わせ先】 諏訪市博物館 TEL 0266-52-7080/FAX 0266-52-6990
メール suwamu@city.suwa.lg.jp